

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

・企業理念の実現を目指し、地域・取引先・行政・従業員から永続的に必要とされる企業を目指す。(企業理念「末永く安心してお付き合いいただける熊本トヨペットを目指し、地域に根差した事業活動を通じて地域社会に貢献する」)

・電動車(HV・PHV等)及び安全装備車(被害低減ブレーキ等)の普及を促進し、低公害かつ事故のない持続可能な社会の実現を目指す。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	電動車(HV・PHV・FCV・EV)の普及	販売車両における電動車比率 2023年60% ⇒ 2026年目標 = 70%
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	安全装備付車の普及	販売車両における安全装備付車比率 2023年実績 =100% ⇒ 2026年目標 =100%を継続
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	人材育成を軸にした人事評価制度の定着 ⇒やりがい、成長 働きやすい環境づくりによる雇用の維持	・考課者研修の定期開催 2023年半年に1回の開催⇒ 2026年 半年に1回の開催継続 ・離職率の低減 2023年離職率6.3%⇒ 2026年離職率6.0%以下

<パートナーシップ>

メーカー(トヨタ自動車)と連携した電動車・安全装備付車の普及促進
 損保会社・自治体と連携し、給電車を活用した防災対応の連携、地域への周知

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。

・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。

・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。

<SDGsに関するこれまでの重点的な取組み及び指標に係る進捗状況>

三側面 (分野に☑)	取組みの状況	前期の指標	実績
☒ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	電動車(HV・PHV・FCV・EV)の普及 ・社外での防災イベントや地域イベント等で電動車を 展示し災害時の給電を実演 ・店舗においても給電訴求の展示大会を実施による 来店客への認知度向上 以上により、目標達成	販売車両における電 動車比率 2020年30%⇒20 23年50%	60%
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	安全装備付車の普及 ・品質情報を都度メーカーに提供するなど、安全 性や品質を確保する仕組みを構築した上で販売 活動を行うことにより目標達成。	販売車両における安 全装備付車比率 23年100%	100%
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	人材育成を軸にした人事評価制度の定着 ⇒やりがい、成長 働きやすい環境づくりによる雇用の維持 ・考課者研修の定期開催および離職率の低減は、 目標達成	考課者研修の定期開 催 ⇒半年に1回の開催離 職率の低減 ⇒離職率10%以下	考課者研修 半年に1回 開催2023年度 離職 率 6.3%

・「取組みの状況」には、前回登録申請した際の重点的な取組みの実施状況や指標の達成状況を記載してください。指標が未達成の場合は、その理由等も記載してください。